

## **AXIS Parking Violation Detection**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS Parking Violation Detection

## 目次

---

ソリューションの概要 .....	3
AXIS Parking Violation Detection について .....	4
ネットワーク上のデバイスを検索する .....	5
rootアカウントの新しいパスワードを設定する .....	5
はじめに .....	6
カメラ取り付けの推奨事項 .....	6
デスクトップおよびカメラアプリをダウンロードする .....	7
カメラアプリのインストール .....	7
デスクトップアプリをインストールする .....	8
デスクトップアプリへのカメラの追加 .....	8
設定ツール .....	9
ファイアウォール経由での接続 .....	11
イベントログにアクセスする .....	12
AXIS Camera Station でアラームを設定する .....	13
Genetec Security Center でアラームを設定する .....	15
VMS統合をテストする .....	18
詳細情報 .....	19
アプリケーション .....	19
ファームウェアオプション .....	19
トラブルシューティング .....	20
アラームの数を変更する .....	20
パフォーマンスを向上させる .....	20
最新バージョンへのアプリケーションの更新 .....	20
ファームウェアのアップグレード .....	20

# AXIS Parking Violation Detection

## ソリューションの概要

---

### ソリューションの概要

# AXIS Parking Violation Detection

## AXIS Parking Violation Detectionについて

---

### AXIS Parking Violation Detectionについて

AXIS Parking Violation Detectionを使用すると、トラフィックレーンやその他のエリアを自動的に監視するためのカスタム検知ゾーンを作成することができます。駐車違反の検知は、ビデオストリームに埋め込まれた、VMS上のタイマーによって表示されます。

AXIS Parking Violation Detectionは、カメラアプリとデスクトップアプリで構成されています。このカメラアプリは、AXIS Camera Application Platformをサポートする、互換性のあるAxisネットワークビデオデバイスにインストールできます。

対応デバイスとファームウェアのバージョンの完全なリストは、[axis.com/products/axis-parking-violation-detection/support-and-documentation](https://axis.com/products/axis-parking-violation-detection/support-and-documentation)で入手できます。

デスクトップアプリはWindowsベースのアプリであり、設定のみに使用されます。

# AXIS Parking Violation Detection

## ネットワーク上のデバイスを検索する

---

### ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、[axis.com/support](http://axis.com/support)からダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、デバイスページ ([axis.com](http://axis.com)) にあるドキュメント『[IPアドレスを割り当ててデバイスにアクセスする方法](#)』を参照してください。

### rootアカウントの新しいパスワードを設定する

#### 重要

デフォルトの管理者ユーザー名は**root**です。rootのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットしてください。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。5 ページの安全なパスワードを参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. [Create login (ログインの作成)] をクリックします。これでパスワードが設定されました。

### 安全なパスワード

#### 重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用される可能性があることから、パスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことを強く推奨します：

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

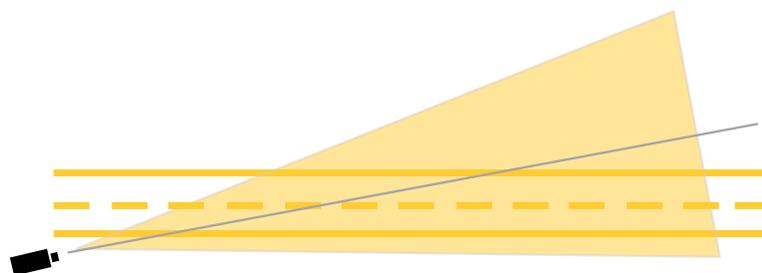
# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに

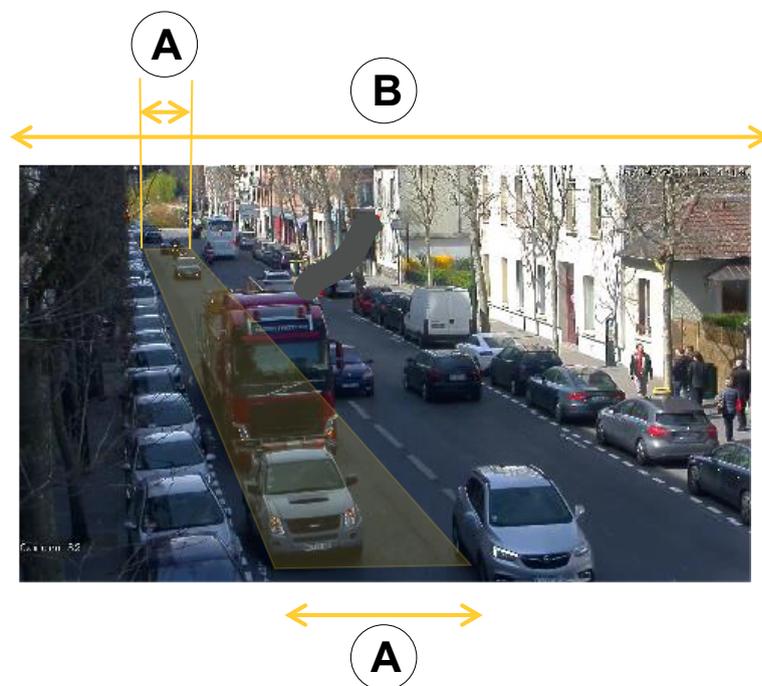
### はじめに

#### カメラ取り付けの推奨事項

- ・ 設置場所を選択するときは、日の出や日の入りの間などに、直射日光によって画像に歪みが生じることがあることに注意してください。
- ・ 取り付け位置の最小高: 3 m。
- ・ 取り付け位置の最大高: 20 m。
- ・ 最大検知距離: 20 x カメラの高さ。
- ・ カメラの視野は、トラフィックレーンの方向に対して同じであるか、またはわずかに斜めになっている必要があります。



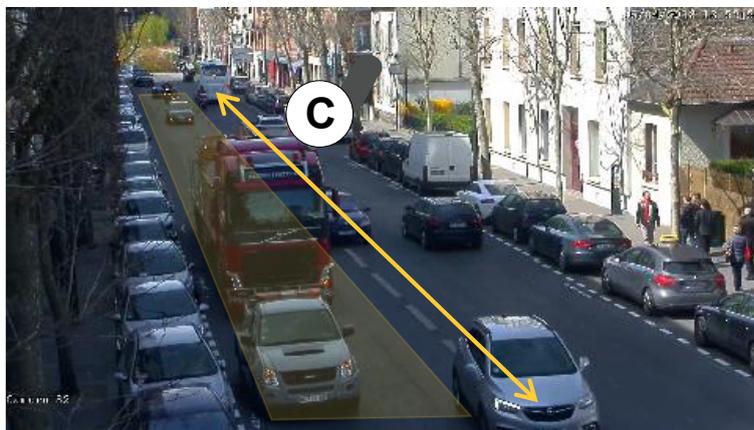
- ・ 監視しようとしているレーン (A) の幅は、車両の幅とほぼ同じである必要があります。さらに、レーンの幅は全体の画像幅 (B) の5% 以上である必要があります。



- ・ レーン (C) を監視する長さは、5 ~ 100 メートルである必要があります。

# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに



## デスクトップおよびカメラアプリをダウンロードする

ログインしていない場合は、MyAxisアカウントにログインしてデスクトップアプリとカメラアプリをダウンロードする必要があります。

1. [axis.com/products/axis-parking-violation-detection/](https://axis.com/products/axis-parking-violation-detection/)に移動します
2. [Software (ソフトウェア) > Download (ダウンロード)] に移動します。

## カメラアプリのインストール

### 注意

- カメラアプリケーションは、カメラのWebページから直接インストールするか、またはAXIS Device Managerを使用してインストールできます。
- カメラにアプリをインストールするには、管理者権限が必要です。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

[www.axis.com/products/online-manual/49377](https://www.axis.com/products/online-manual/49377)

カメラアプリケーションをインストールしています。

1. [デバイス リスト]内のIP番号をクリックして、カメラのWebページに移動します。
2. [Settings > Apps] (設定 > アプリ) に移動します。
3. [Add] (追加) をクリックして、アプリインストールファイル (.eap) をカメラにアップロードします。
4. アプリをアクティブにするには、[Start (開始)] をクリックします。

# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに

---

### 注意

最適なパフォーマンスを得るには、AXIS Parking Violation Detectionがカメラで唯一のアクティブアプリであることを確認してください。

ライセンスを有効化するには、ライセンスコードとAxisデバイスのシリアル番号によって生成されたライセンスキーが必要です。ライセンスキーがコンピューターに保存されていない場合は、以下の手順に従います。

1. [axis.com/applications/](https://axis.com/applications/)に移動します。
2. **[License key registration] (ライセンスキー登録)**に移動します。
3. ライセンスコードとシリアル番号を入力します。
4. ライセンスキーファイルをコンピューターに保存します。
5. カメラのアプリページに移動します。
6. **[Install] (インストール)**をクリックし、ライセンスキーファイルを参照して選択します。

### 複数のカメラへのカメラアプリのインストール

Axis Device ManagerとAXIS Camera Stationの両方を使用して、カメラアプリを複数のカメラにインストールすることができます。

1. AXIS Device Managerで、**[Device Manager]** タブに移動します。AXIS Camera Stationで **[Configuration (設定)] > [Devices (デバイス)] > [Manage (管理)]** の順に選択します。
2. AXIS Parking Violation Detectionをインストールするデバイスを選択します。
3. カメラのユーザー名とパスワードを入力します。
4. [Jigsawピースアイコン]をクリックして **[Application (アプリケーション)]**を参照し、**[Browse (参照)]** をクリックしてダウンロードしたアプリを検索します。

### デスクトップアプリをインストールする

ダウンロードフォルダ内の **[AXIS Parking Violation Detection Desktop.msi]**を確認し、クリックしてデスクトップアプリをインストールします。

### デスクトップアプリへのカメラの追加

#### 注意

カメラを追加するには、管理者権限が必要です。

1. **[Add device (デバイスを追加)]** ダイアログを開くには、**[+]** をクリックします。
2. アプリがインストールされている1つまたは複数のカメラを選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。
3. **[Add (追加)]** をクリックします。

### カメラからライブストリームを表示する

1. デスクトップアプリで、**[デバイスリスト]**に移動します。
2. **[リスト]**から**[カメラ]**を選択し、をクリックします。

# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに

### 設定ツール

[設定] ツールにアクセスするには、道路のアイコンをクリックします。アプリケーションを初めて設定する場合は、このチュートリアルの手順に従うことをお勧めします。

以前に保存した設定を読み込む場合は、11ページの設定の保存または読み込みを参照してください。



### シーンでの遠近を設定します。

これらの手順は、カメラがシーンの正確な遠近を得るために必要です。

#### 注意

水平線は互いに平行で、傾きは最大35度までである必要があります。

1. 垂直線 (V) をクリックし、既知の垂直距離を入力します。
2. 垂直線を既知の距離の位置に移動します。
3. シーン内の位置に合わせて、アンカーポイントを使用してラインを調整します。
4. 2つの水平線用の既知の水平距離を入力します (H1、H2)。
5. H1を垂直線 (V) の上部に移動し、H2を垂直線の下部に移動します。
6. シーン内の位置に合わせて、アンカーポイントを使用してラインを調整します。
7. 9ページの監視する検知ゾーンを追加するに移動します。

### 監視する検知ゾーンを追加する

アプリが駐車違反を監視する必要がある場合は、検知ゾーンを追加します。

#### 注意

検知ゾーンの最小長は5 mであり、最大長は100 mです。検知ゾーンの幅は、通常の自動車におけるものである必要があります。1つのビューの最大数の検知ゾーンを4に維持することにより、パフォーマンスを最適化することができます。

1. アンカーポイントを使用し、監視する範囲をカバーするように検知ゾーンを調整します。
2. 必要に応じて、検知ゾーンを識別するためにデフォルトのレーンIDを変更します。

# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに

3. 追加の検知ゾーンを作成します。
4. **[Time threshold (時間のしきい値)]** フィールドで、駐車違反タイマーのしきい値を調整します。  
しきい値とは、駐車違反通知が送信されてタイマーが開始されるまでの時間です。最小しきい値は30秒、最大20分 (1200秒) です。

### 注意

検知感度を高くすると、アラームの数が増えます。

5. シーンの条件に従って感度を調整します。最初は評価用に、感度を **[Medium (中)]** のままにしておくことをお勧めします。
6. **[Save (保存)]** をクリックします。

## プリセットポジションを使用したPTZ (パン/チルト/ズーム) カメラの設定

PTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを使用する場合は、それぞれのプリセットポジションを個別に設定する必要があります。



PTZプリセットポジションでAXIS Parking Violation Detectionを設定します。

### 注意

- アプリケーションが駐車違反を検知するには、少なくとも30分間はあらかじめ設定した位置に固定する必要があります。
  - 駐車違反を検知するには、シーン内でその車両が停止している状態で映っている必要があります。
1. 8 ページのデスクトップアプリへのカメラの追加の説明に従って、PTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを追加します。
  2. VMSまたはカメラのWebページに移動し、設定したいプリセットポジションまでPTZ (パン/チルト/ズーム) カメラを移動します。設定全体を通して、カメラがそのプリセットポジションにとどまっていることを確認してください。
  3. カメラのドロップダウンメニューで、[デバイスリスト] から [プリセットポジション] を選択します。
  4. 9 ページのシーンでの遠近を設定します。と 9 ページの監視する検知ゾーンを追加するの手順に従います。
  5. 必要に応じて、他のプリセットポジションについても設定を繰り返します。

# AXIS Parking Violation Detection

## はじめに

---

### 設定の保存または読み込み

設定ツールでは、設定を保存してバックアップを行うことができます。また、他のデバイスでわずかな変更を行うことによって再利用することができます。

#### 設定の保存

...をクリックして **[Save to file (ファイルに保存)]** を選択します。

#### 設定を読み込む

...をクリックし、 **[Load from file (ファイルからロード)]** を選択します。

### ファイアウォール経由での接続

歯車アイコンをクリックして、 **[Maintenance (メンテナンス)]** ダイアログボックスにアクセスします。

カメラおよびデスクトップアプリケーションに関連するHTTPポートおよびHTTPSポートを入力します。

# AXIS Parking Violation Detection

## イベントログにアクセスする

---

### イベントログにアクセスする

イベントログには、現在のデバイスのイベントの時間、時間、スナップショットが表示されます。

1. [デバイスリスト]に移動します。
2.  をクリックします。

# AXIS Parking Violation Detection

## AXIS Camera Stationでアラームを設定する

---

### AXIS Camera Stationでアラームを設定する

この例では、**AXIS Camera Station**にルールを設定してオペレーターに警告し、駐車違反が発生したときに映像を録画する方法について説明します。

#### 開始する前に

以下の証明書が必要です。

- AXIS Parking Violationが設定され実行中のAxisネットワークカメラ
- AXIS Camera Station がインストールされているコンピューター

#### AXIS Camera Stationにカメラを追加します

1. AXIS Camera Stationで、カメラを追加します。*AXIS Camera Station*ユーザーズマニュアルを参照してください。

#### デバイスイベントトリガーを作成する

1. クリックして **+**[**Configuration (設定)** > **Recording and events (録画とイベント)** > **Action rules (アクションルール)**] を選択し、[**New (新規)**] をクリックします。
2. [**Add (追加)**] をクリックしてトリガーを追加します。
3. トリガーのリストから [**Device event (デバイスイベント)**] を選択し、[**OK**] をクリックします。
4. [**Configure device event trigger (デバイスイベントトリガーを設定)**] セクションで次のように実行します。
  - [**Device (デバイス)**] からカメラを選択します。
  - [**Event (イベント)**] 内で [**ParkingViolation (駐車違反)**] を選択します。
  - [**Trigger period (トリガー時間)**] で連続する2つのトリガーの間隔を設定します。この機能は、連続する録画の回数を減らすために使用します。この間隔中に別のトリガーが発生しても、録画は継続され、トリガー時間はその時点から再度カウントされます。
5. [**Filters (フィルター)**] で [**active (アクティブ)**] を [**Yes (はい)**] に設定します。
6. [**Ok**] をクリックします。

#### アクションを作成してアラームを上げ、映像を録画する

1. [**Next (次へ)**] をクリックします。
2. [**Add (追加)**] をクリックしてアクションを追加します。
3. アクションのリストから [**Raise alarm (アラームを上げる)**] を選択し、[**OK**] をクリックします。

#### 注意

アラームメッセージは、アラームが発生したときにオペレーターが確認します。

4. [**Alarm message (アラームメッセージ)**] セクションで、アラームのタイトルと説明を入力します。
5. [**Ok**] をクリックします。
6. [**Add (追加)**] をクリックして他のアクションを追加します。
7. アクションのリストから [**Record (録画)**] を選択し、[**Ok**] をクリックします。
8. カメラのリストから、録画に使用するカメラを選択します。

# AXIS Parking Violation Detection

## AXIS Camera Stationでアラームを設定する

---

9. [プロファイル] を選択し、プリバッファとポストバッファを設定します。
10. [Ok] をクリックします。

### 注意

プリバッファは60秒に制限されています。検知閾値が60秒以上に設定されている場合、この車両の停止時間は記録されません。録画が記録されていることを確認するには、[Schedule (スケジュール)] に移動し、[Always (常時)] を選択します。

### アラームがいつアクティブになるかを指定する

1. [Next (次へ)] をクリックします。
2. 特定の時間にアラームだけがアクティブになるように設定する場合は、[Custom schedule (カスタムスケジュール)] を選択します。
3. リストからスケジュールを選択します。
4. [Next (次へ)] をクリックします。
5. アクションルールの名前を入力します。
6. [Finish (完了)] をクリックします。

# AXIS Parking Violation Detection

## Genetec Security Centerでアラームを設定する

---

### Genetec Security Centerでアラームを設定する

この例では、Genetec Security Centerにルールを設定してオペレーターに警告し、駐車違反が発生したときに映像を録画する方法について説明します。

#### 開始する前に

以下の証明書が必要です。

- AXIS Parking Violationが設定され実行中のAxisネットワークカメラ。6ページをご参照ください。
- Genetec Security Centerを実行しているコンピューター。

このカメラをGenetec Security Deskに追加します。

1. Genetec Security Deskにログインします。
2. [Tools (ツール) > Config Tool (設定ツール) > Video (ビデオ) > Archive (アーカイブ)] に移動します。
3. [Archiver (アーカイバー)] を右クリックし、[Add an entity (エンティティを追加) > Video unit (ビデオユニット)] に移動します。
4. [Manual add (手動追加)] ポップアップウィンドウで、以下を実行します。
  - 4.1 [Manufacturer (メーカー)] を選択します。Axis
  - 4.2 [Product type (製品タイプ)] を選択します。その他
  - 4.3 AXISカメラの [IP address (IPアドレス)] を入力します。
  - 4.4 [HTTP port (HTTP ポート)] を選択します: 80 (デフォルト値)
  - 4.5 [Authentication (認証)]: [Specific (特定)] を選択
  - 4.6 [Username and password (ユーザー名とパスワード)] を入力します。
5. [Add and close (追加して閉じる)] をクリックします。

Security Deskにカメラを追加したら、アラームがトリガーされたときに表示されるイベントの種類を設定します。

1. [Archiver (アーカイバー) > Camera (カメラ) > Properties (プロパティ)] に移動します。
2. [Applications (アプリケーション)] から、AXISパーキング違反検知アプリケーションを選択します。
3. [Application events (アプリケーションイベント)] で以下を行います: 事象の種類として [ParkingViolationDetection ] を選択します。
4. [Apply (適用)] をクリックして、設定を検証します。
5. [Security Center (セキュリティセンター)] サービスを再起動して、変更を適用します。

アラームを設定し、[Monitoring tab (モニタリング)] タブに表示します。

1. [Security Desk (セキュリティデスク) > Options (オプション) > Events (イベント)] に移動します。
2. [Custom events (カスタムイベント)] リストを展開します。
3. 以下をクリックします:
  - **ParkingViolation ON:** 事象が発生すると、アラームが上昇します (事象の開始時)
  - **ParkingViolation OFF:** 事象の終わりに、アラームが上昇します。

# AXIS Parking Violation Detection

## Genetec Security Centerでアラームを設定する

4. [AXIS Parking Violation Detection] イベントの **[Display in tile (タイルに表示)]** 列がオンになっていることを確認します (デフォルトでオンにする必要があります)。そうでない場合は、チェックしてください。このアクションを使用すると、[Security Desk] 内の **[Monitoring (監視)]** にアラームが表示されるようになります。
5. **[Security Desk > Monitoring (監視)]** に移動します
6. タイルに表示するカメラをダブルクリックします。下にある **[Monitoring (監視)]** をクリックして、監視インターフェースに表示するイベントを設定します。
7. イベントを発生させるカメラをクリックします。
8. **[Alarm monitoring (アラーム監視)]** で、**[ON (オン)]** をクリックすると、**[Monitoring (監視)]** の上にイベントが表示されます。

カメラに監視が有効になっている場合、カメラに添付された **[ParkingViolationDetection ]** イベントを受信するとすぐに、Security Deskは監視タスクの最初の空きタイルにカメラを自動的に表示します。

### 注意

監視デバイスは、常に同じタイルに表示されるように設定することができます。

### event-to-action (イベントからアクション) を設定

event-to-action (イベントからアクション) は、特定のイベントに対するアクションをリンクします。Security DeskがAXIS Parking Violation Detectionからアラームを受信したときに、アクションをトリガーするカスタムイベントを設定します。

1. Genetec **[Config Tool (コンフィグツール)]** を開き、**[System (システム) > General Settings (全般設定)]** に移動します。
2. **[Actions (アクション)]** に移動し、**[+]** (アイコン) をクリックします。
3. **[When (いつ)]** ドロップダウンリストにある **[AXIS Parking Violation Detection event type (AXIS Parking Violation Detection イベントタイプ)]** を選択します。
4. **[From (元)]** メニュー内にある **[Any entity (いずれかのエンティティ)]** をクリックし、イベントをトリガーするAXISカメラを選択します。
5. **[Effective (効率的)]** で **[Always (常時)]** をクリックし、アクションがアクティブになったときのスケジュールを設定します。
6. **[Save (保存)]** をクリックします。

### 設定の検証

事象をシミュレートするか、ユーザーアラームをテストして、設定がシステムの仕様に従って行われていることを確認してください。「18ページの、VMS統合をテストする」を参照してください。

### Genetec セキュリティセンターのメタデータを有効にする

AXIS Parking Violation DetectionからのメタデータをGenetec Security Deskに送信するには:

1. Genetec Security Deskに **[Record Action Rule (レコードアクションルール)]** を追加します。
2. AXIS Parking Violation Detectionデスクトップアプリでイベントメタデータを有効にします。
  - 2.1 リストでカメラを選択します。
  - 2.2 **[Settings (設定)]** アイコンをクリックします。
  - 2.3 **[Access plain config (プレーン設定にアクセス)]** をクリックします
  - 2.4 以下の3つのメタデータタイプをすべてアクティブにします。**[Preset (プリセット)]**、**[LaneID (レーンID)]**、**[StartDateTimeUTC (協定世界時の開始日)]**。

# AXIS Parking Violation Detection

## Genetec Security Centerでアラームを設定する

---

- 2.5 [Save (保存)] をクリックします
3. 18ページの、VMS統合をテストするします。

# AXIS Parking Violation Detection

## VMS統合をテストする

---

### VMS統合をテストする

VMS統合が期待どおりに動作することをテストするために、イベントを手動でトリガーすることができます。

1. デスクトップアプリで、デバイスリストに移動します。
2. [デバイス] を選択し、 をクリックします。
3. イベントをトリガーするには、 をクリックします。
4. [VMS] に移動し、タイマーとアラートが期待どおりに表示されていることを確認します。

# AXIS Parking Violation Detection

## 詳細情報

---

### 詳細情報

#### アプリケーション

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、[axis.com/applications](https://axis.com/applications)を参照してください。

アクシスアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、[axis.com](https://axis.com)を参照してください。

#### ファームウェアオプション

アクシスでは、アクティブトラックまたはLTS(長期サポート)トラックのどちらかに従って、製品のファームウェアを管理することができます。アクティブトラックでは、最新の製品機能すべてに常時アクセスできますが、LTSトラックの場合、バグフィックスやセキュリティ更新に重点を置いた定期的リリースが提供される固定プラットフォームを使用します。

最新の機能にアクセスする場合、またはアクシスのエンドツーエンドシステムの機能を利用する場合は、アクティブトラックのファームウェアを使用することをお勧めします。最新のアクティブトラックに対して継続的な検証が行われないサードパーティの統合を使用する場合は、LTSトラックをお勧めします。LTSにより、大きな機能的な変更や既存の統合に影響を与えることなく、サイバーセキュリティを維持することができます。アクシス製品のファームウェア戦略の詳細については、[axis.com/support/firmware](https://axis.com/support/firmware)を参照してください。

# AXIS Parking Violation Detection

## トラブルシューティング

---

### トラブルシューティング

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](https://axis.com/support)のトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

### アラームの数を変更する

検知の感度と**Configuration (設定)**ツールでアラートがトリガーされる際の閾値を調整することにより、トリガーされたアラームの数を増減させることができます。

- アラームの数を減らすには、以下のようにします。**Threshold (しきい値)**を大きくするか検知の**Sensitivity (感度)**を下げてください。
- アラームの数を増やすには、以下のようにします。**Threshold (しきい値)**を低くするか検知の**Sensitivity (感度)**を上げてください。

### パフォーマンスを向上させる

カメラが複数のカメラアプリケーションを実行している場合は、パフォーマンスを向上させるため、カメラのWebページにアクセスして、スイッチをオフにすることが必要な場合があります。

#### 注意

**Axis Video Motion Detection 4**は、ほとんどのAXISカメラでデフォルトで動作します。Q16およびQ17シリーズは、デフォルトで実行されている**AXIS Guard Suite**を搭載しています。

### 最新バージョンへのアプリケーションの更新

最新の改善を活かすには、最新のバージョンのアプリケーションにアップグレードすることをお勧めします。

カメラアプリとデスクトップアプリの最新バージョンをダウンロードするには、[7ページのデスクトップおよびカメラアプリをダウンロードする](#)を参照してください。

### ファームウェアのアップグレード

#### 重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

#### 重要

アップグレードプロセス中は、本製品を電源に接続したままにしてください。

#### 注意

Active (アクティブ)トラックから最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、[axis.com/support/firmware](https://axis.com/support/firmware)を参照してください。

- ファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルは[axis.com/support/firmware](https://axis.com/support/firmware)から無料で入手できます。
- 製品に管理者としてログインします。

